

競技に関する留意事項

- 1 競技方法は、第21回高校生ものづくりコンテスト全国大会測量部門に準ずる。
- 2 大会の実施にあたっては、別紙の新型コロナウイルス感染防止対策ガイドラインを遵守すること。
- 3 申込人数は、1チーム3名とする。受付時に選手登録用紙を提出し、選手Ⅰ、選手Ⅱ、選手Ⅲの登録を行うこと。
- 4 やむを得ない事由により欠席する選手が出た場合は、受付時に選手変更届を大会事務局に提出し、選手を変更することができる。受付後に何らかの事由により欠員が出た場合、2名または1名で競技を行うことができるが、メンバー変更および競技への復帰はできない。
- 5 外業競技において欠員が出た場合、残りの選手は、欠員した選手の役割を担うこと。
(残りの選手は、器械での観測作業を交互に行うこと。)
- 6 大会に出場する選手は、本人と保護者の同意が必要である。チーム責任者は、受付時に参加同意書を大会事務局に提出すること。(チーム責任者は、コピーを保管しておくこと。)
- 7 競技に用いる器械器具等については、第21回高校生ものづくりコンテスト全国大会測量部門と同様とする。それ以外の器械器具等を用いる場合、事前説明会にて競技委員長の了承を得ること。
- 8 使用予定の測量器械器具は、競技開始前に競技委員による点検を受けた後、消毒をすること。
- 9 野帳はB4、計算書はA3サイズのを大会事務局が準備する。
- 10 競技の採点は、全国大会の測量部門課題に記載してある採点基準に沿って採点を行う。
※【採点基準2】についても同様である。
- 11 外業競技中の立入制限区域については、別紙「外業競技中の立入制限区域について」を参照のこと。
- 12 測角、測距をする前に記帳することや、記帳する前に次の測点を視準してはいけない。ただし、該当観測点の° ' " の記入、微動ネジが定まってない時の○° ○' については、記入しても良い。
(正位観測終了後に記帳してから反位の観測を行う。その間、器械を操作してはいけない。)
- 13 野帳には、観測データ以外は何も記入してはいけない。
- 14 外業・内業ともに角度の記入は、04" でも4" でもかまわないが、単位は必ず記入すること。
- 15 野帳内の「観測距離」、計算書内の「2. 観測距離」・「3. 緯距・経距、トラバースの調整計算」および「閉合誤差」は、小数第3位まで記入すること。
記入例) ○ 23. 410 × 23. 41
- 16 外業競技中、野帳に記入した数値を訂正する場合は、二重線で消し、その横に正しい数値を記入すること。(別紙の記入例を参照のこと)
- 17 外業競技において、次のような場合、競技委員長がリスタートを認めることがある。
 - 1) 他チームから競技を妨げる行為があったとき
 - 2) 競技中に選手が体調不良を訴えるなど、競技を中断せざるを得ないとき
- 18 計算書内の「観測角度の調整量」・「3. 緯距・経距、トラバースの調整計算」は、+や-の符号を必ずつけること。ただし、±の符号は省略することができる。
- 19 計算書は1人1部ずつ配付する。なお、計算用紙については必要数配付する。
- 20 計算書の必要箇所はすべて記入し、間違い、記入漏れがあった場合については、【採点基準3】により採点する。採点者が読めない文字については無効とする。
- 21 チームの合計得点が同一の場合は、①閉合誤差、②合計時間、③測定内角和の誤差、④外業時間、⑤内業時間の順に順位付けを行う。
- 22 競技の妨げにならなければ、写真等の記録をとってもかまわない。
- 23 大会が順延する場合、大会前日17時までには判断し、参加校の担当者へ連絡する。
(悪天候が予想される場合は早めに連絡する。)
- 24 コース抽選は以下の方法で行う。
 - 1) 各県上位校を優先にグループ1・2を分ける。
 - 2) グループごとに抽選を行い、コースを決定する。なお、抽選の順番については、受付順とする。ただし、会場校のチームは一番最後として扱う。
- 25 選手が競技会場内で携帯電話、スマートフォン等の無線通信機器類を使用することはできない。競技会場内に持ち込む場合は、必ず電源を切っておくこと。
- 26 大会当日の競技時間によっては、予定を繰り上げて実施する場合がある。
- 27 上記以外の問題が発生した場合は、審査員がその都度協議を行う。